

|                      |   |                   |  |
|----------------------|---|-------------------|--|
| <b>第3学年<br/>工作</b>   | <b>題材名</b><br>わくわく どきどき♪ こんなところから かおー！！ |                   |  |
| <b>【授業会場】</b> 図工室    | <b>【時 間】</b> 第○校時                       | <b>【児 童】</b> 3年○組 |  |
| <b>【指 導 者】</b> ○○ ○○ | <b>【授業協議会・分科会会場】</b> 3年○組               |                   |  |

## 1 題材について

### ○題材観

本題材は、小学校学習指導要領図画工作第3学年及び第4学年の内容A表現(1)イと(2)イ及び、B鑑賞(1)ア、〔共通事項〕(1)ア、イを受けて設定した。

この題材は、段ボールに穴を開けて顔を出したり、好きなことを思い浮かべたりしながら、表したいことを見付け、どのように表すかについて考えを広げていく活動である。形や色、材料などを生かしながら、自分のイメージに近づけ、つくりだす喜びを味わうことのできる題材である。

### ○児童観

本学級の児童は、「図画工作科の学習は好きですか。」の問いに対し、ほとんどの児童が肯定的な回答をしており、日頃から活動に意欲的に取り組んでいる。「うごいて楽しいわりピンワールド」や「空きようきのへんしん」といった工作の学習では、新しい材料や様々な表現方法に興味をもち、自分の表したいことに合わせて材料や用具を選択して、取り組む姿勢が見られた。一方で、自分の発想に自信がなく、表したいことを見付けることに苦手意識をもつ児童もいる。

「知識」に関しては、これまでの学習から、色の組み合わせによる感じや色の明るさの感じについて、分かっている児童が多い。さらに、パスやクーピー、水彩絵の具などの描画材料による色の感じの違いについても分かっている児童が多い。

「技能」に関しては、これまでの学習で、段ボールカッターを使って段ボールをイメージした形に切ったり、組み合わせたりする活動をしてきている。安全な扱いは身に付いているが、扱いに十分に慣れていない児童もいる。パスやクーピー、水彩絵の具などの描画材料に関しては、かき表したいものによって各自が選択して使っている。しかし、パスや水彩絵の具などの描画材料において、単一の基本的な色の重なりや混ざり方は身に付いているが、画材を組み合わせた表現技法が身に付いていない児童が多い。

「発想・構想【思・判・表】」に関しては、表したいことや用途に合わせて構想し、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すのかについて考えることのできる児童が多い。一方で、形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付ける発想について苦手としている児童もいる。

「鑑賞【思・判・表】」に関しては、友達の活動や作品の良さや面白さを見付けたり、自分の作品に取り入れたり、伝え合ったりすることができる児童が多い。しかし、友達のよさや面白さを感じとることはできるものの自分の作品に自信がもてない児童がいる。さらに、一題材で見付けた作品のよさや面白さを他題材で取り入れて活かすことができる児童が少ない。

### ○指導観

指導に当たっては、児童が感じたことや想像したことを大切にし、表したいことを見付け、表現することのできる環境を整えることを重視する。教室内に鏡などの鑑賞用具を多く配置し、表現と鑑賞の活動を往還的に行うことができ、さらに、自然と友達と交流しながら、発想・構想できるよう、班机などの場の工夫を行う。また、感想を共有する時間を設け、自分の作品のよさや面白さを再認識することで自己有用感を高めたい。

「知識」の指導に関しては、教室内の鏡を活用し、表したいことに合う形や色の感じが分かるようにする。

「技能」の指導に関しては、段ボールカッターの使い方を再度指導する。また、着色や接着などが試すことができる場や材料を用意しておく。描画材料の扱い方や表現技法についても指導し、児童が表したいことに合わせて選択し、表現に活かすことができるようにしたい。安全かつ材料に合った用具の扱い方を指導し、表したい形が表せるようにする。

「発想・構想【思・判・表】」の指導に関しては、教室内の鏡の配置を工夫し、児童が何度も顔を

出して確認したくなる環境設定を行うとともに、班机での活動と、題材の興味と見通しをもつことができる導入の工夫を行うことで、発想・構想が広がるようにする。

「鑑賞【思・判・表】」の指導に関しては、教室内に設置した鏡等を活用し、活動の中で自然と鑑賞が行えるようにする。また、タブレット端末を用いて毎時間、児童の活動や作品を撮影・共有することで、児童同士の視点の共有を図る。タブレット端末による鑑賞では、自分の作品から顔を出して撮影し、友達と写真を見合うといった作品のよさや面白さを見付け合う時間を設ける。さらに、感想を共有する活動を通して、見方や感じ方を広げるとともに、自分の作品のよさや面白さを再認識し、自己有用感を高めたい。

## 2 題材の目標

### (1) 知識及び技能

- 顔を出したくなるパネルをつくる時の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。
- 水彩絵の具や共同絵の具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫する。

### (2) 思考力、判断力、表現力等

- 顔を出して感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。
- 顔を出し合って自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
- 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。

### (3) 学びに向かう力、人間性等

- 進んで顔を出したくなるパネルをつくったり使ったりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

## 3 題材の評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>顔を出したくなるパネルをつくる時の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。</li> <li>描画材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、顔を出して感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</li> <li>形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、実際に顔を出し合って自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>つくりだす喜びを味わい進んで顔を出したくなるパネルをつくったり使ったりする学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> |

## 4 指導と評価の計画（全8時間）

| 時間 | めあて<br>学習活動   | 評価の観点、評価方法等 |    |             |   |
|----|---|-------------|----|-------------|---|
|    |   | 知           | 技  | 思           | 態 |
|    |   | 知識          | 技能 | 発想や構想<br>鑑賞 |   |
| 1  | 教科書の作例や実際にある顔出しパネルなどを見て、顔を出したくなるパネルをつくらう<br>・パネルの構成を練る。 |             | ○  | ○           |   |
| 2  |   |             |    |             |   |

|         |  |                     |                     |                     |                     |                          |
|---------|--|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------------|
| 3       | ・顔を出す穴を開ける。<br>・下描きをする。  |                     |                     |                     |                     |                          |
| 4       | 顔を出したくなるようなパネルをつくろう<br>・顔を出して確かめながらつくる。                          |                     |                     | ◎<br>観察<br>対話<br>作品 | (○)                 | ↓<br>◎<br>観察<br>対話<br>作品 |
| 5<br>本時 |  |                     |                     |                     |                     |                          |
| 6       |  | ◎<br>観察<br>対話<br>作品 | ◎<br>観察<br>対話<br>作品 |                     |                     |                          |
| 7       |  |                     |                     |                     |                     |                          |
| 8       | 実際に顔を出し合って友達と互いの作品を見合<br>い、作品の良さや面白さを伝え合おう<br>・友達の作品を見合い、良さに気付く。 |                     |                     |                     | ◎<br>観察<br>対話<br>作品 |                          |

○・・・題材の評価規準に照らして、適宜、児童の学習状況を把握し指導に生かす。

◎・・・題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を把握し記録に残す。

### 5 本時の目標

顔を出して感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながらつくる。

### 6 準備物

白ライナーシート、段ボール、段ボールカッター、水彩絵の具、共同絵の具（ポスターカラー）、パス、ローラー、刷毛、ペン、はさみ、木工用接着剤、色画用紙、鏡、ワークシート、わりピン、タブレット、発砲スチロール

### 7 本時の学習展開（5時間目/全8時間）

| 学習活動                        | ◇指導の工夫<br>◆努力を要すると判断される児童への手立て  | 評価規準（評価の方法） |
|-----------------------------|---|-------------|
| 1 本時のめあてを確認し、<br>学習の見通しをもつ。 |   |             |
| <b>顔を出したくなるようなパネルをつくろう</b>  |   |             |
|                             | ◇使用する画材や用具の確認をする。<br>○描くときに使うもの<br>・パス<br>・水彩絵の具<br>・共同絵の具（ポスターカラー）<br>・ペン<br>○貼るときに使うもの<br>・のり<br>・ボンド<br>○表したいことのお助けするグッズ<br>・色画用紙<br>・段ボール<br>・折り紙<br>・わりピン など |             |

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>2 顔を出して確認しながら、顔出しパネルをつくる。</p>  | <p>◇イメージができた児童から活動に取りかかれるよう支援する。</p> <p>◆活動の停滞している児童に対しては、どうして停滞しているのか想像しながら児童の様子を観察し、困っているようであれば、丁寧に思いを聞き取ったり、お助けグッズを確認したりする。</p>   | <p><b>発想や構想</b><br/>形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、顔を出して感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている（観察・対話）◎</p> |
| <p>3 本時の振り返りをする。</p>  | <p>◇つくり、つくりかえ、つくる活動ができるように各自で、鏡を見ながら、適宜鑑賞する時間を設けるように声掛けを行う。（タブレットを鏡代わりにしてもよい）</p> <p>◇自然と交流したり、友達の活動を見たりすることができるように班形態にする。</p> <p>◇タブレットで作品の写真を撮り、ワークシートへ本時の振り返りを記入し、困り感が共有できる場をつくる。</p> <p>◇次時への制作意欲を高める。</p> |  |
| <p>&lt;学びが深まった姿&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顔を出して鏡を見てみると、黄色の星があまり目立たない感じがしたので、星をポスターカラーの白でかきました。すると、しっかり星が見えるようになりました。次回はペンで星の中にクレーターをかきたいと思います。</li> <li>・宇宙をかいている友達の様子を見ていたら、僕のかいている空飛ぶゾウさんの周りに星をかきたくなったので、付け足しました。星は、ポスターカラーを使いました。</li> <li>・たこ焼きから顔が出るパネルをつくっていたが、何度も鏡を見てみると、たこ焼きを掴む箸を動かしたくなったので、わりピンと段ボールの切れ端を付けてみました。</li> <li>・友達がわりピンを使っていたので、僕も野球のボールが回るようにわりピンを使いました。回転するボールが飛び出した顔に近づいてくるので、迫力が増したと思います。</li> </ul> |  |  |
| <p>4 片付けをする。</p>  |  |  |

8 板書計画

わくわく ときどき♪こんなところからかおー！！


顔を出したくなるようなパネルをつくろう

**かく道具**

- ・水さい絵の具
- ・パス
- ・ポスターカラー
- ・ペン

**はる道具**

- ・のり
- ・ボンド



おたすけグッズ

- ・色画用紙
- ・だんボール
- ・おり紙
- ・わりピン